

HIRAOKA Kindergarten Presents

季刊

湘南自然誌

Vol.33

July 12th 2024

神奈川・湘南
地域の自然を
再発見する



特集
神奈川県
のクワガタムシ

監修：木崎庸雅
(はこねおだわら昆虫館 副館長)

園児と自然に触れ合う中から生まれた
四季STAND

園児や地域の皆さんからの
投稿写真を季節毎に掲載
**湘南雑みんなでつくる！
生きものの図鑑**

地域の中で遊んで学ぶ
ひらおか幼稚園
アクションレポート

県立愛川ふれあいの村
吉田文雄学芸員によるコラム
心が育つ幼児教育

遊んで学ぶ生きものについて
知育ゲーム

2024年4月～6月に、本誌発行元の平岡幼稚園の園便りに掲載されたコラムを改編してお届けします。

四季のコラム

平岡の森のサワガニ

2024年3月に平岡幼稚園の平岡の森で、有志の園児家族を対象とした親子観察会を実施しました。チョロチョロと湧き水が流れ出るこの場所は、昔からたくさんサワガニが見られます。昨年の観察会では『誰がサワガニを一番見つけられるか選手権』を開催して大いに盛り上がりました（最高記録50匹！）。でも・・・今年の選手権でなかなか見つからず、1日目の皆さんの最高記録はわずか4匹でした。2日目の皆さんも序盤は苦戦していたのですが、とある水辺の一角で複数のサワガニが見つかったのを機に付近を大捜査した結果、なんと40匹超まで記録を伸ばすことができました。なぜ今年は苦戦したのでしょうか？一番の理由は3月になってもなかなか気温が上がらず、暖かい日が少なかったからではないかと思えます。今回、サワガニが集中的に見つかった場所は、湧き水が出ている所でした。他の場所と比べて水温が高いので、サワガニが活動していたのかもかもしれません。思い返せば、昨年はサクラの開花が記録的に早かったですね。「生きものの暦」は年月日が基準ではないことを大きく感じられた観察会となりました。

本誌31号の「第1回知育ゲーム」でも紹介しましたが、ゲンジボタル、ヘイケボタルは、成虫になると口が退化してしまします。そのため成虫は長くは生きられません。幻想的で、どことなく儚げな光は、幼虫時代に蓄えた栄養を使って作り出しているのです。ゲンジボタルの出現は5月中旬ごろ、ヘイケボタルは6月の終わりごろです。夜に自然豊かな丘陵地の水辺を散策すれば出会うチャンスがあると思います。ちなみに、平岡幼稚園では毎年7月上旬にヘイケボタルの観察会を実施しています。今年の観察会の様子は次号にてご報告します。



1 / 『誰がサワガニを一番見つけられるか選手権』の表彰式。賞品はセミの下敷きだ。 2・3 / 今年はサワガニを1匹見つけるだけでも苦労した。暖かい日が少なかったことが要因か。春本番になればもっと簡単に見つかるはずだ。 4 / サワガニは、冬の間は巣穴などに潜って冬眠する。春の始動は、その年の気温によって、ズレがあることをみんなで身をもって感じる事ができた。



1 / ゲンジボタル（体長約1.5cm）。流水環境で発
2 / ヘイケボタル（体長1cmくらい）。湿地など
3 / 平塚市の丘陵地には、わずかだが良好な湿地環
ヘイケボタルの光跡。シャッタースピードを長くして

4月

平岡の森のクワ（桑）の木

園内の各所にあるクワの木（ヤマグワとマグワ）。鳥などに
より種子が被食散布され、色々な場所から芽を出しています。
クワの木は、初夏に甘酸っぱい果実を付けます。5月の平岡
の森探検では、熟した実を食べて楽しみました。また、この
時期の葉や枝には白い綿毛のようなものが付いていることが
あります。もしこれがあれば、日本最大級のテントウムシ、
ハラグロオオテントウがいるかもしれません。ハラグロオオ
テントウは綿毛の主であるクワキジラミの幼虫を食べるから
です。体長が1cmくらいあるので、見つけることができれば、
その大きさに驚くと思います。

クワの葉は、蚕（カイコ）の食草であることでも有名です。
何年か前より、授業の一環としてクラスで蚕を育てている小
学校があるようで、クワの葉をわけて欲しいという小学生が
何度か来園した事もあります。雑木（ざつぼく）として扱わ
れることが多いクワの木ですが、子どもたちを楽しませてく
れるたくさんの魅力を持っています。

ホタルが舞う平塚の里山！

神奈川県で記録されているホタル科の昆虫は11種、湘南
地域では6種です。この中には日本の風物詩として愛されて
きたゲンジボタル、ヘイケボタルも含まれます。かつては身
近に見られた両種ですが、とりわけ後者は農業や乾田化の影
響を受けて減少が顕著です（市内でもわずかな場所にしか見
られません）。



1/クワの実を収穫する園児。園内のクワの木はほとんどがヤマグワだ。 2/園児の指先ほどあるハラグロオオテントウ。 3/収穫したヤマグワの実 4/クワキジラミの幼虫。腹の先から紐状の蠟物質（ロウ糸）を分泌する。この蠟物質が風に靡いて“くねくね”と生きているように動く姿は観察対象としても面白い。 5/クワキジラミの成虫。アブラムシなどに近い仲間だ。成虫は長生きで優に1年またはそれ以上生きるという。



生ずる。点滅はゆっくり（2秒で1回くらい）で発生する。点滅は早め（1秒で1回くらい）境が残る。大切にしていきたい場所だ。 4/絞りを大きく開くと幻想的な写真が撮れる。

5月

6月

神奈川県 クワガタムシ

監修：木崎庸雅（はこねおだわら昆虫館 副館長）



はこねおだわら昆虫館 副館長

木崎庸雅 Kizaki Tsunemasa

昭和 35 年小田原市生まれ。玉川大学文学部卒。神奈川県昆虫談話会会員。幼稚園のころにクワガタの魅力に目覚める。結婚を機に一度昆虫を離れるが、単身赴任をきっかけにクワガタを始めとした甲虫類全般の調査・採集活動を再開。南西諸島などの離島を中心に全国を飛び回る。

この特集で使われている標本写真は神奈川県産のものとは限りません。

神奈川県では何種類？

神奈川県にはクワガタムシの仲間は 18 種（すべてが基亜種）分布している。前述の通り国内で見られるクワガタは 46 ～ 49 種程度なので、約 3/5 にあたる種が県内で見られることになる。北部から西部にかけて 1000 m を超える山々が広がる神奈川県は、比較的多くのクワガタムシが見られる地域と言えるだろう。（ちなみに、最高地点が 408 m の千葉県には 8 種しか分布していないようだ。）

奈川昆虫談話会）では 49 種 55 亜種となっている。2020 年にはホンソツヤルリクワガタの新亜種としてアマギゴエホンソツヤルリクワガタが発表されるなど、現在も分類状況が刻々と変化しているが、今のところ日本産は 46 ～ 49 種 55 ～ 56 亜種程度と考えてよいだろう。

※ 亜種とは、長い年月をかけて地域に特化した形体・生態に進化し、「種」は同じでも異なった特徴が見られる個体群のこと。



オオクワガタ
Dorcus hepei binodulosus

特集 神奈川県のカワガタムシ

今号は、子どもから大人まで多くの人気を集めるクワガタムシの特集です。ほこねおだわら昆虫館副館長の木崎庸雅氏所蔵の標本を撮影させていただき、神奈川県内で見られるクワガタムシ全種図鑑を作ってみました。同氏監修のもと簡単な解説も加え、眺めるだけでも楽しめる県内産クワガタムシガイドブックとなりました。
(編集部)

実はいろいろ、クワガタムシの姿

クワガタといえば、身近でも見られるコクワガタやノコギリクワガタを思い浮かべる人が多いだろう。しかし中には、とてもクワガタとは思えない姿をしているものがあることをご存じだろうか？ たとえばマグソクワガタという種は、クワガタの象徴ともいえる雄々しいハサミ状の大顎（おおあご）がほとんどない。標高の高い山地に生息するルリクワガタの仲間は、宝石のようにキラキラしている。マダラクワガタという種は、なんとテントウムシより小さく、体長5ミリ程度しかない。これらはいずれも神奈川県で見つかっているものだ。県内だけでもこんなに変わった形のクワガタムシの仲間がいるということをご存知っていただきたい。

日本産のカワガタムシは何種類？

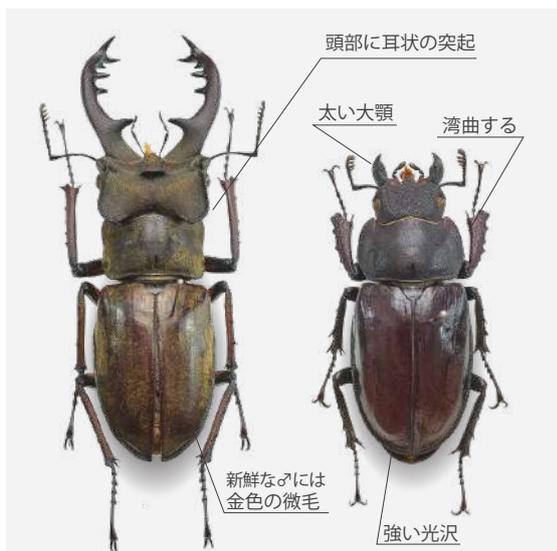
クワガタムシの分類は、成虫や幼虫のさまざまな部位の形やDNAなどを加味して行われるが、その線引きは研究者によって見解が異なる。たとえば2019年発行の『日本のクワガタムシ』（むし社）では日本産は46種55亜種、『神奈川県昆虫誌2018』（神



1. ノコギリクワガタ

Prosopocoilus inclinatus inclinatus

体長 ♂25～77 mm、♀25～42 mm。県内のほぼ全域に分布し、最も身近に見られる種のひとつ。成虫は、全体的に赤味を帯びる。秋ごろに羽化してそのまま休眠し、翌年の梅雨から7月下旬あたりに出てきて活動する。活動した個体は冬は越せない。灯火によく集まる。幼虫はある程度の湿度を好むようで、枯れ木の根の部分や、倒木なら地面と接する下の方にいることが多い。幼虫期間は1年。幼虫時代の餌の量や質、温度などの条件により、オスの大顎の長さや形が大きく変わる（写真 a～c）。



2. ミヤマクワガタ

Lucanus maculifemoratus maculifemoratus

体長 ♂29～78 mm、♀25～46 mm。成虫の活動期は6月～9月中旬。灯火によく集まる。前種と同様、羽化後休眠する。活動した個体は冬は越さない。暑さに弱く、比較的標高の高い場所に生息。幼虫は枯れ木の根にすることが多い。幼虫期間は2～3年。



3. ヒラタクワガタ

Dorcus titanus pilifer

体長 ♂19～75 mm、♀28～41 mm。成虫の活動期は5月～9月頃。5年くらい生きる個体も。県内広くに分布し、河川敷でよく見つかるが数は多くない。オスの大顎には鋸歯がある。メスと小型のオスには強い光沢。幼虫は枯れ木の根にすることが多い。

神奈川県のカワガタムシ全種図鑑 01

ノコギリクワガタ / ミヤマクワガタ / ヒラタクワガタ / オオクワガタ / ヒメオオクワガタ / アカアシクワガタ



4. オオクワガタ

Dorcus hopei binodulosus

体長 ♂21～76 mm、♀22～50 mm。飼育下では90 mmを超えることも。神奈川県では記録が少ない。成虫は昼間は太い木の洞（うろ）の中にいることが多い。5～6月あたりから活動を始める。成虫期は2～3年。幼虫は立ち枯れした木や倒木の中にある。メスは上翅に筋がある。



5. ヒメオオクワガタ

Dorcus montivagus montivagus

体長 ♂29～58 mm、♀26～42 mm。神奈川県では丹沢、箱根山地の標高1,000m以上の場所に生息する。成虫の活動期は6月上旬～10月上旬。クワガタの多くは夜行性だが本種は昼行性。ヤナギなどの樹液に集まる。幼虫は枯れ木の固い部分を食べる。



6. アカアシクワガタ

Dorcus rubrofemoratus rubrofemoratus

体長 ♂23～58 mm、♀25～40 mm。腹側が赤いのが特徴。県内では標高の高い場所で見られる。個体数はそれほど多くはないが、条件の良い場所では一本の木に100匹以上集まっていることも。成虫の活動期は6月～10月頃。ヤナギの枝先などの樹液に集まる。



7. コクワガタ

Dorcus rectus rectus

体長 ♂17～54 mm、♀22～33 mm。国内で最もよく見られる種。成虫の活動期は5月～10月中旬。都市部の公園などでも見られ、灯火によく集まる。小型のオスは大顎の内歯が消失する。メスの胸部のみ光沢がある。幼虫は乾燥している環境にも強い。



8. スジクワガタ

Dorcus striatipennis striatipennis

体長 ♂13～39 mm、♀14～24 mm。コクワガタに似るが、上翅にスジがあることで見分けられる。大型のオスは上翅のスジが消失するが、内歯が2つあるので判別は可能(写真左)。県内では山地部に多い。成虫の活動期は5月下旬～10月頃まで。



9. ミヤマツヤハダクワガタ

Ceruchus lignarius monticola

体長 ♂14～23 mm、♀14～16 mm。神奈川県では丹沢山地の標高1,000m以上の場所で見られる。幼虫期間2年くらい。赤腐れの朽ち木(色が赤っぽい朽ち木)を好む。成虫は何も食べない。場合によっては朽木の外に出ることなく一生を終えることもある。



10. チビクワガタ

Figulus binodulus

体長9～16 mm。神奈川県では2012年に相模原市南区で発見されたが、県内の他所では見つかっていない。材の移動により移入した可能性もある。成虫は肉食性で、主に朽木の中で生活する。外見だけではオスかメスかを見分けるのは難しい。

神奈川県のカワガタムシ全種図鑑 02

コクワガタ / スジクワガタ / ミヤマツヤハダクワガタ / チビクワガタ / ネプトクワガタ / オニクワガタ / マダラクワガタ / マグソクワガタ



11. ネプトクワガタ

Aegus laevicollis subnitidus

体長 ♂11～33 mm、♀14～18 mm。大顎の根元が太く、前翅に明瞭なスジがある。成虫は6～9月に出現。広葉樹だけでなく針葉樹の樹液にも集まる。幼虫は赤腐れの朽ち木（色が赤っぽい朽ち木）を好む。県内に現存する正式記録は1954年横須賀市の1例のみ。



12. オニクワガタ

Prismognathus angularis angularis

体長 ♂14～27 mm、♀16～23 mm。神奈川県では標高800m以上の丹沢・箱根山地にのみ生息する。成虫は、お盆の時期の前後2週間くらいに多く見られる。灯火に来ることもある。成虫は何も食べない。幼虫は白腐れの朽木（色が白っぽい朽木）を好む。



13. マダラクワガタ

Aesalus asiaticus asiaticus

体長 ♂4～7 mm、♀4～6 mm。国産のカワガタムシの中で最も小さい。成虫・幼虫ともに赤腐れの朽ち木（色が赤っぽい朽ち木）にいることが多い。県内では箱根・丹沢山地に分布する。成虫は摂食しないと思われるが、その生態はまだあまり解明されていない。



14. マグソクワガタ

Nicagus japonicus

体長 ♂7～8 mm、♀8～9 mm。顎は極小で、コガネムシの仲間のようなだが、幼虫はクワガタ類の特徴を持つ。県内では相模川の一角でしか見つかっていない。GWの頃にメスを探して飛び回る。幼虫は河川敷の砂に埋もれた朽木の中で生活。成虫は何も食べない。

神奈川県のカワガタムシ全種図鑑 03

ルリクワガタ / ホソツヤルリクワガタ / コルリクワガタ / トウカイコルリクワガタ



15. ルリクワガタ

Platycerus delicatulus delicatulus

体長 ♂9～13 mm、♀9～12 mm。神奈川県では標高 1,000 m 前後に分布する。ホソツヤルリクワガタに似るが、より光沢が弱く、大顎の根元がえぐれないことなどで区別できる。幼虫は地面に接しないための朽木を好む。



16. ホソツヤルリクワガタ

Platycerus kawadai

体長 ♂9～13 mm、♀8～12 mm。神奈川県では標高 1,000m 前後に分布する。ルリクワガタに似るが、やや細身で光沢が強く、大顎の根元がえぐれていることなどで区別できる。幼虫は、地面に接しない細めの朽木を好む。



17. コルリクワガタ

Platycerus acuticollis

体長 ♂9～12 mm、♀8～11 mm。県内で本種が初めて見つかったのは 2012 年、丹沢山地である。他県では標高 1,000 m 前後に生息するが、本県では例外的に標高 500m あたりに生息する。幼虫は地面に接する細めの朽木で見られる。



18. トウカイコルリクワガタ

Platycerus takakuwai takakuwai

体長 ♂8～12 mm、♀8～11 mm。県内では丹沢・箱根山地の標高 1,000m 前後に分布する。コルリクワガタとは外形が酷似する。成虫は樹木の新芽に集まるが、なぜか本県では観察例がほとんど得られていない。幼虫は地面に接する細めの朽木で見られる。

右/ネプトクワガタ
左/オオクワガタ



見つけたら報告を！

神奈川県では「絶滅」扱いとなっているネプトクワガタであるが、近隣の都県では見られるため、再発見される可能性がある。また、オオクワガタは県内では近年の記録が極めて少ない種である。もし県内で見つけた場合は、地域の博物館等に連絡をして欲しい。(その場合は現物を持ち込むことが必須である)

人気の分類群だけに…

クワガタ類は幼虫の飼育方法が確立され、繁殖が容易になった種も多い。そのような個体は、安易に野外へ放出しないよう十分に注意したいところだ。我が国には、同種でも地域によって異なる特徴を持つ種類が多く、それらが交雑してしまうと、元々の生態系を乱してしまうことがあるからだ。また、最近では外国産のクワガタも簡単に手に入るようになった。飼育する場合は、最後まで責任を持つ、ということをお願いしたい。



アカアシクワガタ
Dorcus rubrofemoratus rubrofemoratus

オニクワガタ
Prismognathus angularis angularis



◀ クワガタムシのことをもっと知りたい人におすすめの本

- 『クワガタムシハンドブック 増補改訂版』(文一総合出版) 1,980円
- 『日本のクワガタムシ ポケット図鑑』(むし社) 509円
- 『BE-KUWA』(むし社) 1,540円 ※年4回発行のクワガタ専門誌

湘南発 みんなでつくる!

生きもの図鑑

2024年3月～5月 春

平岡幼稚園の園児・教職員と、地域の皆さんからの投稿
写真を季節毎に掲載する、タイムリーな生きもの図鑑です。
【図鑑の見方：① 場所・② 年月・③ 氏名】



どなたでも投稿できます

写真と「撮影年月日」「撮影場所」「発見者」
を添えて、下記にてお気軽にお送りください。
種名が分からなくてもOKです。

送付先

投稿用メールQRコード
ikimono@hiraoka-kg.com



過去の記録検索

みんなで作る生きもの図鑑 索引
湘南自然誌 PDF版



※ 対象地域は神奈川県です。
※ 期間外の写真を掲載することもあります。
※ この図鑑は編集部の責任で作成しています。誤りは判明次第訂正します。
※ 同定者名の記載のあるもの以外は編集部(堀田佳之介)が同定しており、
性別や年齢は分かる範囲で付記しています。

オオシオカラトンボ♂

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年5月中旬 備考：未熟個体
③ 矢島夢姫



アサヒナカワトンボ伊豆個体群

① 南足柄市 同定：—
② 2024年4月中旬 備考：交尾中
③ 露木和男



ホソミイトトンボ♂

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年5月下旬 備考：県RDB情報不足
③ 秋山颯汰



ムカシトンボ♂

① 小田原市久野 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：—
③ 堀田来佳



ヤブヤンマ♀

① 平岡幼稚園内 同定：—
② 2024年4月下旬 備考：羽化直後
③ 堀田佳之介



ギンヤンマ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：口部の形状により
- ③ 古谷颯真 同定



クロシギンヤンマ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月上旬 備考：口部の形状により
- ③ 高野瑞喜 同定



Davidius sp. ♀

- ① 南足柄市 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：ダビドサナエ or
- ③ 露木和男 クロサナエ



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 小林桜花



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 佐藤里帆



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 清水彩葉



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 井上愛葉



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 笠煌大



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 門倉あん



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 欠島夢姫



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 原優程



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 佐々木大我



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 佐藤里帆



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 秋山颯汰



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 渡邊巴南



ショウジョウトンボ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 梅澤心音



ショウジョウトンボ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：未熟個体
- ③ 一瀬希織



ハラビロトンボ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：県 RDB 要注意種
- ③ 露木和男



オオシオカラトンボ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



オオシオカラトンボ未熟♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 石黒隆斗



ヤブキリ幼虫

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 露木和男



ヤブキリ幼虫

- ① 秦野市戸川 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 志澤歩佳



ケラ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：県 RDB 要注意種
- ③ 浮田剛希



ケラ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 海老澤顕寿



ツチイナゴ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月上旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



トノサマバッタ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月下旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



トゲナフシ幼虫

- ① 小田原市久野 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



オオカマキリ古卵鞘

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月中旬 備考：—
- ③ 横田隼也



チョウセンカマキリ古卵鞘

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



ミンミンゼミ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：死体
- ③ 津田瑛翔



トビロツノゼミ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 山口穂葉



ヨコツナサシガメ

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：国外外来種
- ③ 高橋茂



マルカメムシ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 志澤秀祐



シロヘリクチブトカメムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年4月中旬 備考：—
- ③ 井上愛菜



キマダラカメムシ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：国外外来種
- ③ 小松望結



モンキツノカメムシ

- ① 小田原市久野 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



セアカヒラタゴミムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 原結莉華



コクワガタ♂

- ① 伊勢原市高森 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 志澤宏一



クロハナムグリ

- ① 平塚市高根 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：—
- ③ 武末範子



クロハナムグリ

- ① 平塚市上吉沢 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：—
- ③ 露木和男



ヒラタハナムグリ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月下旬 備考：—
- ③ 磯田結月



ウバタマムシ

- ① 相模原市緑区佐野川 同定：—
- ② 2024年5月中旬 備考：県RDB準絶滅危惧
- ③ 武末範子



ジョウカイボン (伊豆亜種)

- ① 平塚市めぐみか丘 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 高橋茂



インジョウカイモドキ♂

- ① 真鶴町真鶴 同定：—
- ② 2024年4月下旬 備考：県RDB絶滅危惧II類
- ③ 富岡誠一



ヒメオビオオキノコ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：国内初記録
- ③ 川口紫雲



ハラグロオオテントウ

- ① 平塚市片岡 同定：—
- ② 2024年5月上旬 備考：—
- ③ 大澤康子



ナナホシテントウ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年3月下旬 備考：—
- ③ 永井榮